

まつら



NO.98

令和7年2月

佐賀県唐津農林事務所
東松浦農業振興センター

TEL (0955) 73 - 1121

FAX (0955) 75 - 0578



人と自然と文化の交響曲・佐賀

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/higashifukyu>

※東松浦農業振興センターホームページ



石川勇治さん（中央）
大谷典子さん（右）
金丸ゆかりさん（左）

「第26回 全国農業担い手サミット in さが」

～唐津・玄海地区運営委員会の農業士を紹介します！～

地区農業士の役員として、担い手サミットでは地区運営委員会の設立から運営、および県段階の幹事会に参加されました。地域交流会がより良くなるために頻りに協議を行い、様々なアイデアを提案され、準備に奮闘されておりました。担い手サミットの開催当日には、情報交換会での挨拶や司会、現地研修会ではバスに添乗してのガイド役を果たされ、今回の全国農業担い手サミットを成功に導かれました。

同じく、副会長の金丸ゆかり氏は、肥前町で施設いちごを栽培されており、いちご生産振興のため高い技術で地域を牽引されています。

地区農業士会会長の石川勇治氏は、担い手サミットの地区運営委員会の委員長を務められました。石川氏は七山で施設トマトと米の生産・販売に取り組み、ドローンや直進アシストトラクタなどスマート農業を積極的に導入されています。

地区農業士会副会長の金丸典子氏は、浜玉町で露地野菜と水稻を栽培されており、ふるさと先生などで食育や民泊などのグリーンツーリズムでも活躍されています。



「第26回全国農業担い手サミットinさが 唐津・玄海地域交流会」

情報交換会や現地研修会を通じ、参加者の交流が深まり、経営の発展につながる
とともに、唐津・玄海地区の農産物や観光等の魅力をPRすることができました。



◇情報交換会（メルキュール佐賀唐津リゾート）



開会



いちごさん・はまさき・甘夏ゼリー



現地研修対応者の登壇



アトラクション（大野大黒舞）



県外参加者と懇談の様子



特産品の抽選会



展示ブース（JAからつ）

◇現地研修会（5コースで実施）



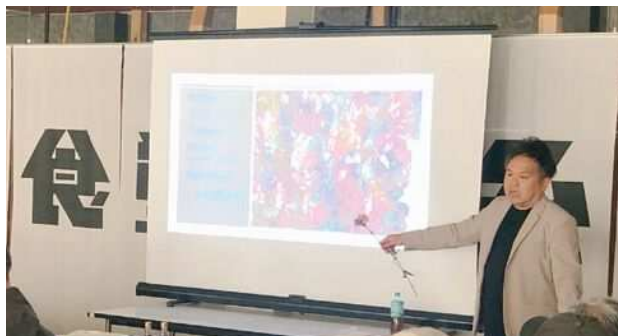
蕨野の棚田



株式会社KOMATSU FLOWER



ひれふり団地



マリンセンターおさかな村



JAからつ唐津地区いちごパッケージセンター



株式会社麻生園芸



玄海町薬用植物研究所



中山牧場株式会社



甘夏かあちゃん



唐津うまかもん市場

◇中山牧場(株)が全国優良経営体表彰を受賞

担い手サミット関連事業として、管内で黒毛和種肉用牛一貫経営を大規模に行っている「中山牧場株式会社」が、経営改善部門の“全国担い手育成総合支援協議会会長賞”を受賞されました（令和7年1月22日 佐賀市文化会館）。

情勢の変化に左右されにくい足腰の強い経営の実現に向け、会社一丸となり取組んできた経営改善活動が評価されました。

6年度 全国優良経営体表彰
主催：畜料生産者、全国担い手育成総合支援協議会



農業研修生募集！

当地域では、新しく農業を始めたい方を対象に研修を行っています。

JA、JA生産部会、唐津市、玄海町、佐賀県が連携し専門性の高い研修を行うことで、農業を始めるために必要な技術を習得することができます。

また、いちごやアスパラガス、きゅうり、にじゅうまる、肉用牛繁殖では研修用の施設を整備しており、より実践的な研修ができます。

農業を始めたい方、技術や知識を学びたい方、ぜひ、お近くのJA、市町、当センターへお問い合わせください。

研修施設が
充実しています！

ミニトレーニングファーム

熟練農家の指導のもと、栽培技術・経営能力を養う研修施設です。



きゅうり（JAからつ）



にじゅうまる（JA鏡果実）



いちご（JAからつ）



アスパラガス（JAからつ）

JAからつ

佐賀牛いろはファーム

肉用牛繁殖経営を目指す方向けの研修施設です。



焼酎原料用カンショの栽培拡大に向けて

焼酎原料用カンショについては、JAからつによる集荷体制が整備され、令和6年産の栽培者数20戸（組織を含む）、上場地区の平均反収は3.3t/10a（上位は5t/10a）の好成績となりました。

出荷先の酒造メーカーからは、品質が良く収量も非常に高いことから期待の声が上がっています。

生産面では、収穫の機械化や圃場集荷の省力的な点から、徐々に面積を拡大する方も増えています。

2月12日にJAからつ西部営農センターで

新規者説明会を行い、苗の注文を2～3月中にとりまとめます。今後も病害対策や機械収穫の支援を中心に、JAからつと連携して進めていきます。



【ハーベスターで収穫する様子】



【ユニック車による圃場集荷】

〈※参考：主な栽培スケジュール〉

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主な作業				畝立て	定植		除草剤		収穫			
自家育苗の場合			育苗						害虫防除			